

令和5年度 集いダイジェスト

講演「学校・家庭・地域の連携・協働 ～子どもとまちの未来のために～」



講師
特定非営利活動法人まちと学校のみらい
代表理事 竹原 和泉

学校と地域が連携・協働し、子どもたちは学校だけでなく地域で学んでいる。地域には、ホンモノがあり、地域ならではの出会いがあり、時には安心して失敗をしながら深く学んでいく。このとき、私たち大人は子どもたちに対して始めから用意し過ぎないことが大切。子どもたちを信頼して任せ、大人が子どもの参画を本気で受け止めることで、子どもたちの当事者性が高まり、市民性の醸成につながる。誰かが何とかしてくれるのではなく、当事者として、自分たちの力で学校や地域をつくり上げていくことが、私たちや子どもたちに問われている。

第1分科会 テーマ【地域学校協働活動】

幅広い地域住民の参画により、学校と地域が連携して子どもたちを育てる体制づくりをどのように進めるか

【発表1】

高津っ子の学びを応援する地域学校協働活動
高津校区地域学校協働本部
地域コーディネーター 秋月 恭子



【発表2】

学校と地域をつなぐ「地域教育プロデューサー」の役割と活用
野村地域自治振興協議会
地域教育プロデューサー 染田 麻弓子



【指導助言】

特定非営利活動法人
まちと学校のみらい
代表理事 竹原 和泉



第2分科会 テーマ【地域による教育機会の充実】

全ての子どもたちの教育機会の充実を図るために地域の支援体制づくりをどのように進めるか

【発表1】

地域貢献とキャリア教育に向けた土曜塾の展開
松山聖陵高等学校
教諭 伊賀上 大三



【発表2】

子どものアソビ場 サードプレイス
づくりを目指して
八幡浜市立神山地区公民館地域活動
交流拠点施設「あすもわ」
館長 木下 恵介



【指導助言】

愛媛大学大学院
教育学研究科
特定教授 中尾 茂樹



第3分科会 テーマ【子育て・家庭教育支援】

保護者と子どもを支え育む子育て・家庭教育支援の体制づくりをどのように進めるか

【発表1】

保護者や地域をつなぎ、共に子どもを育むPTA活動
関川小学校PTA
PTA会長 眞鍋 聡
前PTA会長 森高 大輔



【発表2】

できることから始める子育て・家庭教育支援
石田クリーニング株式会社
代表取締役 清本 有策



【指導助言】

えひめ子どもの城
園長
敷村 一元



第4分科会 テーマ【放課後・土曜日等の子どもの支援】

子どもたちの放課後等の豊かな教育活動をどのように進めるか

【発表1】

子どもたちの笑顔が集まる場所
～かみじま子ども体験教室の取組～
上島つながるプロジェクト実行委員会
代表 大西 美穂
事務局 中西 智恵



【発表2】

育ちあう場所をめざして ～豊かな放課後への支援のありかた～
さくら児童クラブ運営委員会
主任支援員 谷川 玲子



【指導助言】

愛媛大学教育学部
准教授
山田 誠

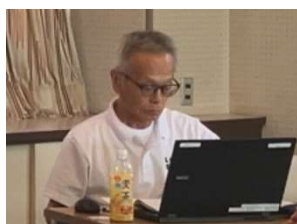


第5分科会 テーマ【ICT時代の教育支援】

子どもたちのICT環境が大きく変化する中で、地域の教育支援をどのように進めるか

【発表1】

ICTを活用した子ども支援事業
玉津公民館
地域づくり支援員 一色 良



【発表2】

ICTで持続可能、ぎょしょく教育活動のDX
愛南町水産課海業推進室
室長補佐 清水 貴光



【指導助言】

コムスクえひめ
代表理事
西村久仁夫

